

# 食品ロスに関する市民アンケート調査結果

## 1 調査概要

市民の皆様の食品ロスについての関心や取組状況等をお聴きし、今後の施策等に反映することを目的として、アンケート調査を実施しました。

調査対象： 住民基本台帳を基に、無作為に抽出した18歳以上の市民1,000人

調査期間： 平成31年2月1日～2月15日

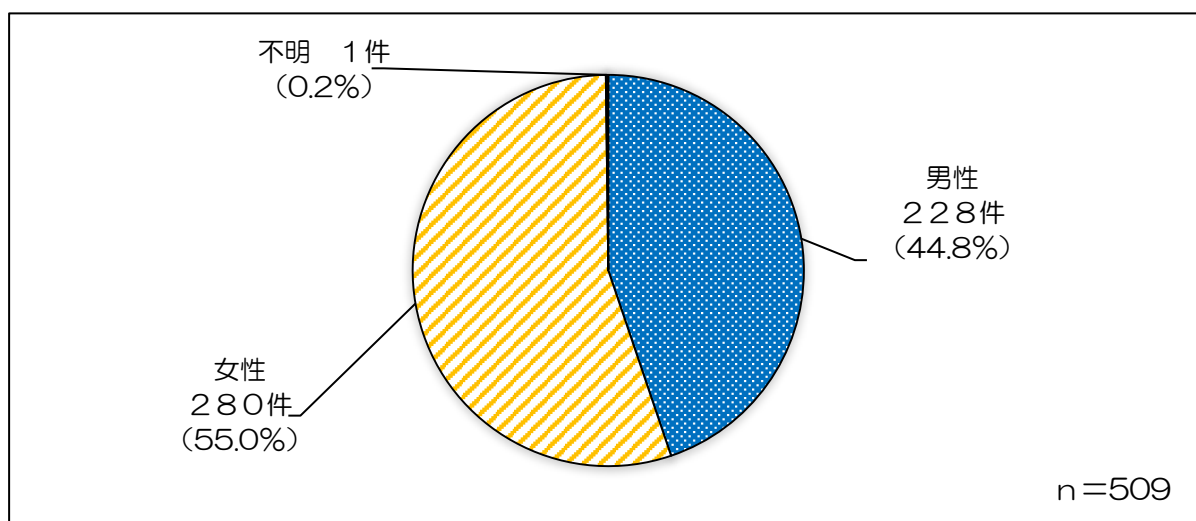
調査方法： アンケート調査票を対象者に郵送

回答数： 509件（回答率 50.9%）

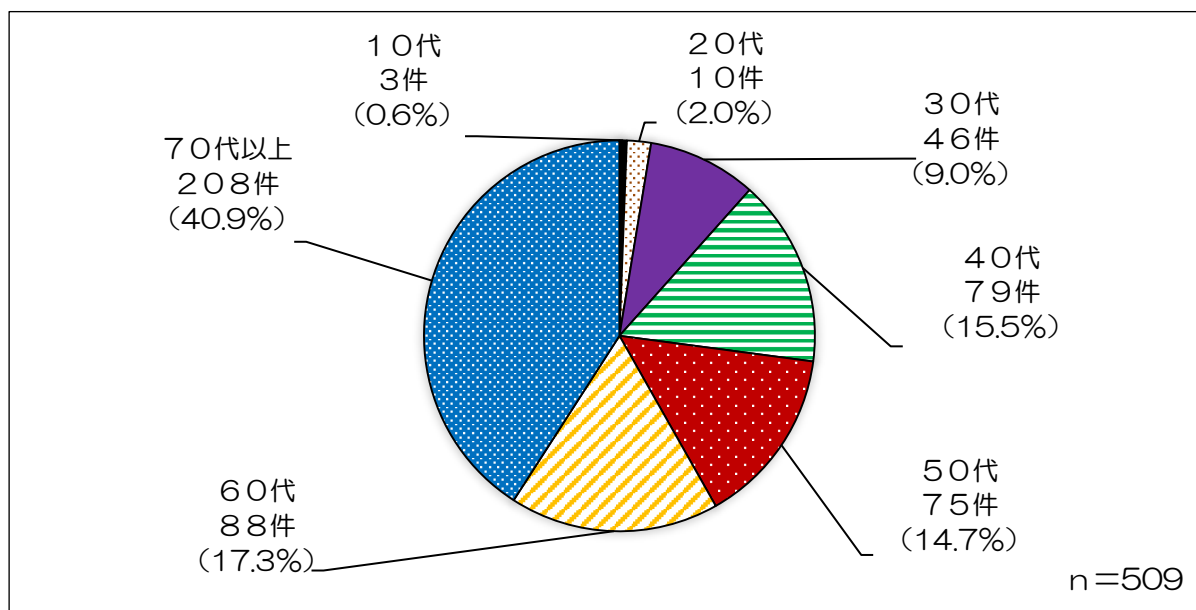
## 2 調査結果

はじめに、あなた御自身のことについて

問1 (1) あなたの性別をお答えください。

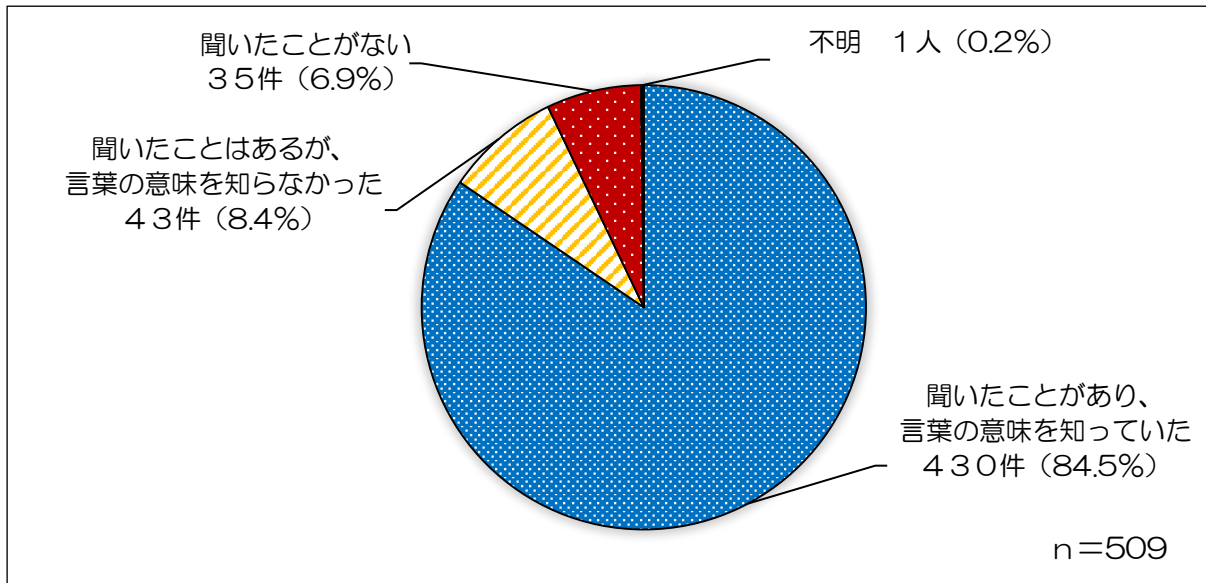


(2) あなたの年齢層をお答えください。



## 食品ロスへの関心度について

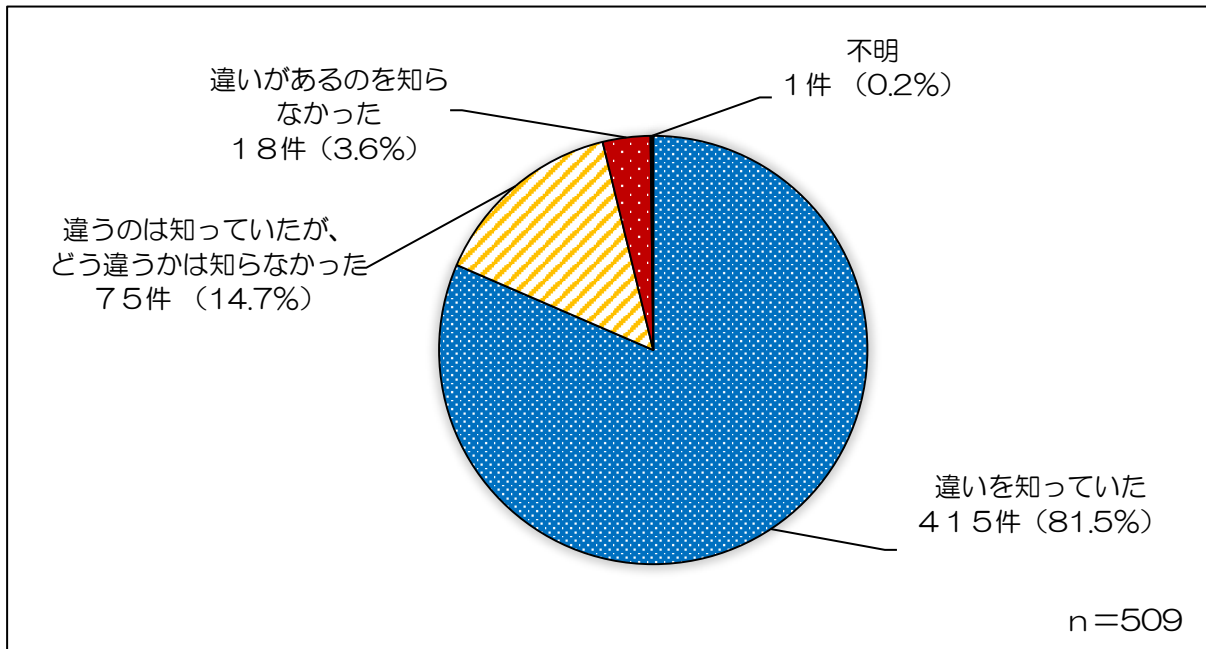
問2 あなたは、「食品ロス」という言葉を聞いたことがありますか。



- 食品ロスの言葉の意味を知っていた市民は約85%。

## 賞味期限・消費期限の違いの認知度について

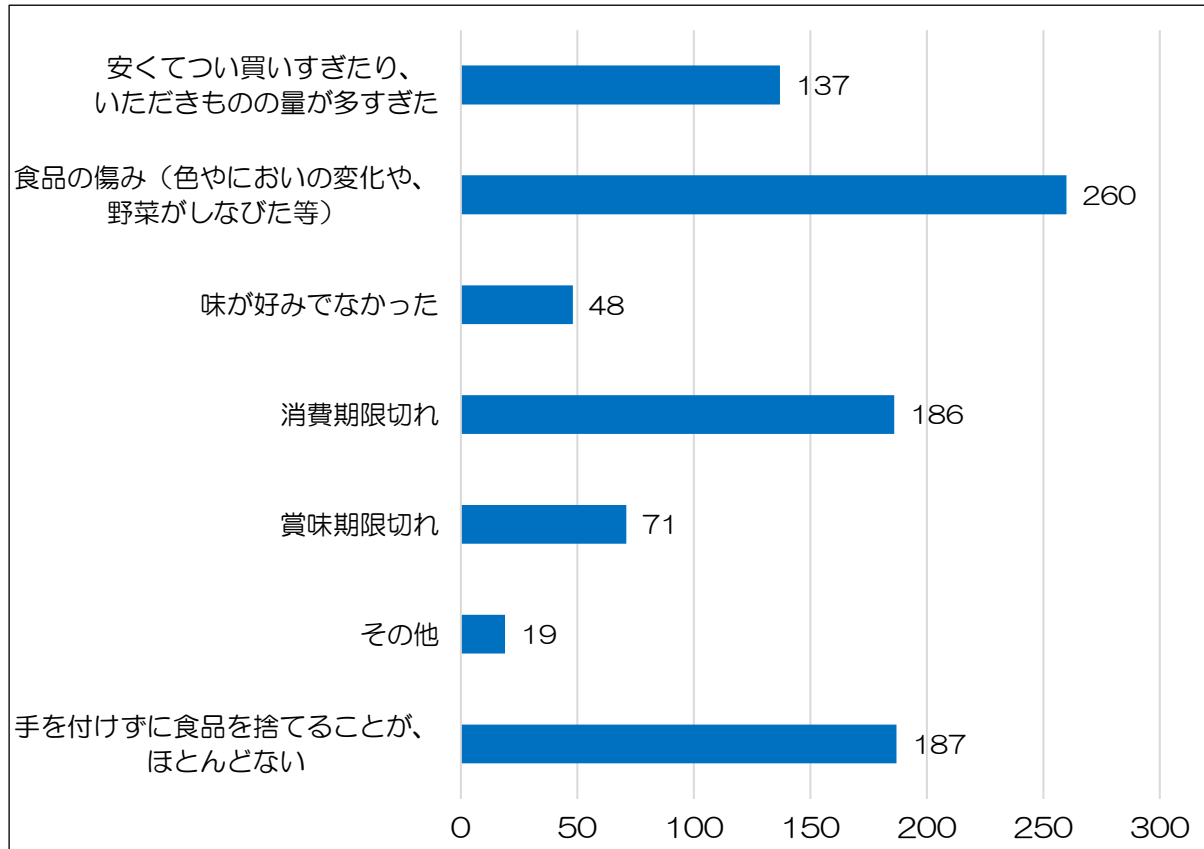
問3 あなたは、食品に記載されている「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか。



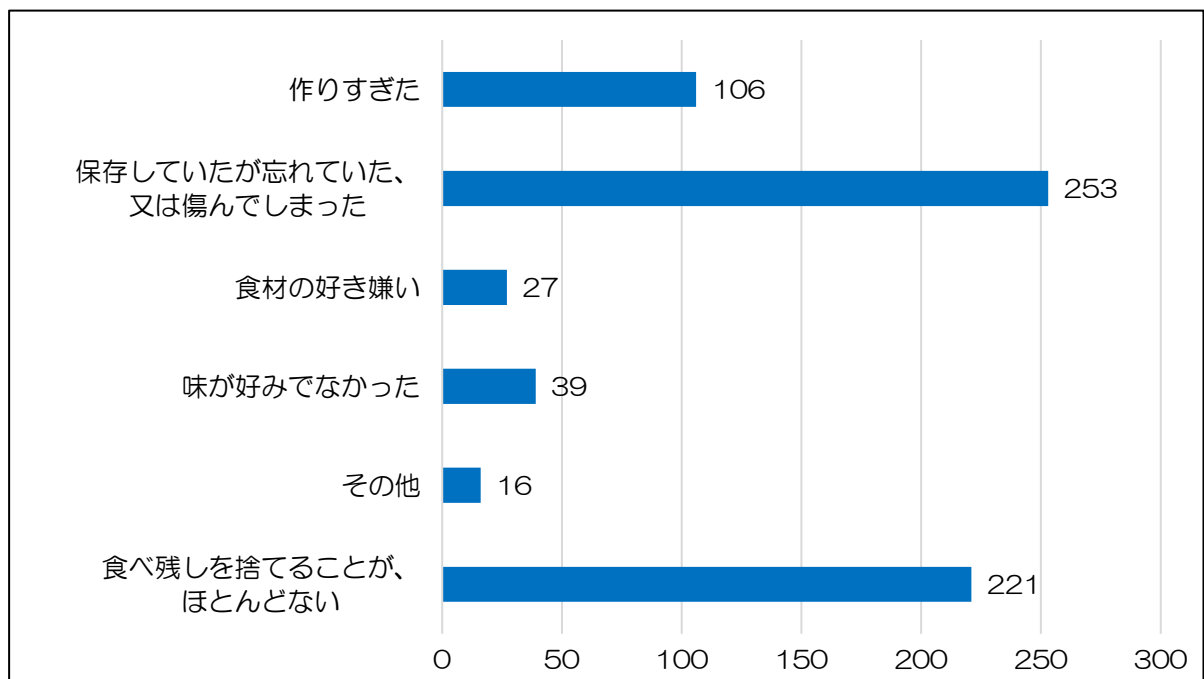
- 市民の約82%が、賞味期限と消費期限の違いを知っていたと回答。

## 家庭での食品ロスの発生原因について

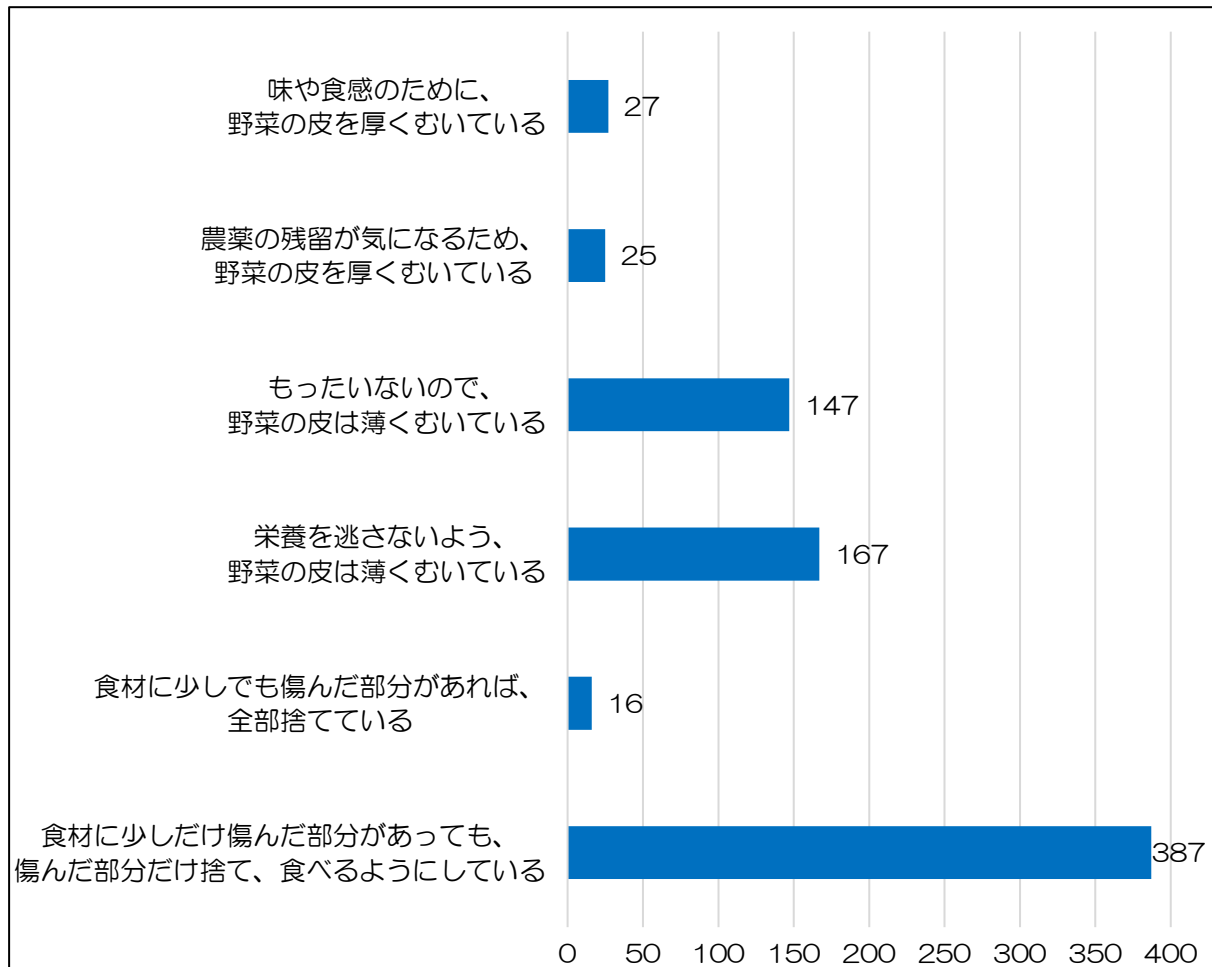
問4 (1) 御家庭で、全く、又は一部にしか手を付けずに、食品を捨ててしまう主な理由は何ですか。(複数回答可)



(2) 御家庭で、食べ残しを捨ててしまう主な理由は何ですか。(複数回答可)

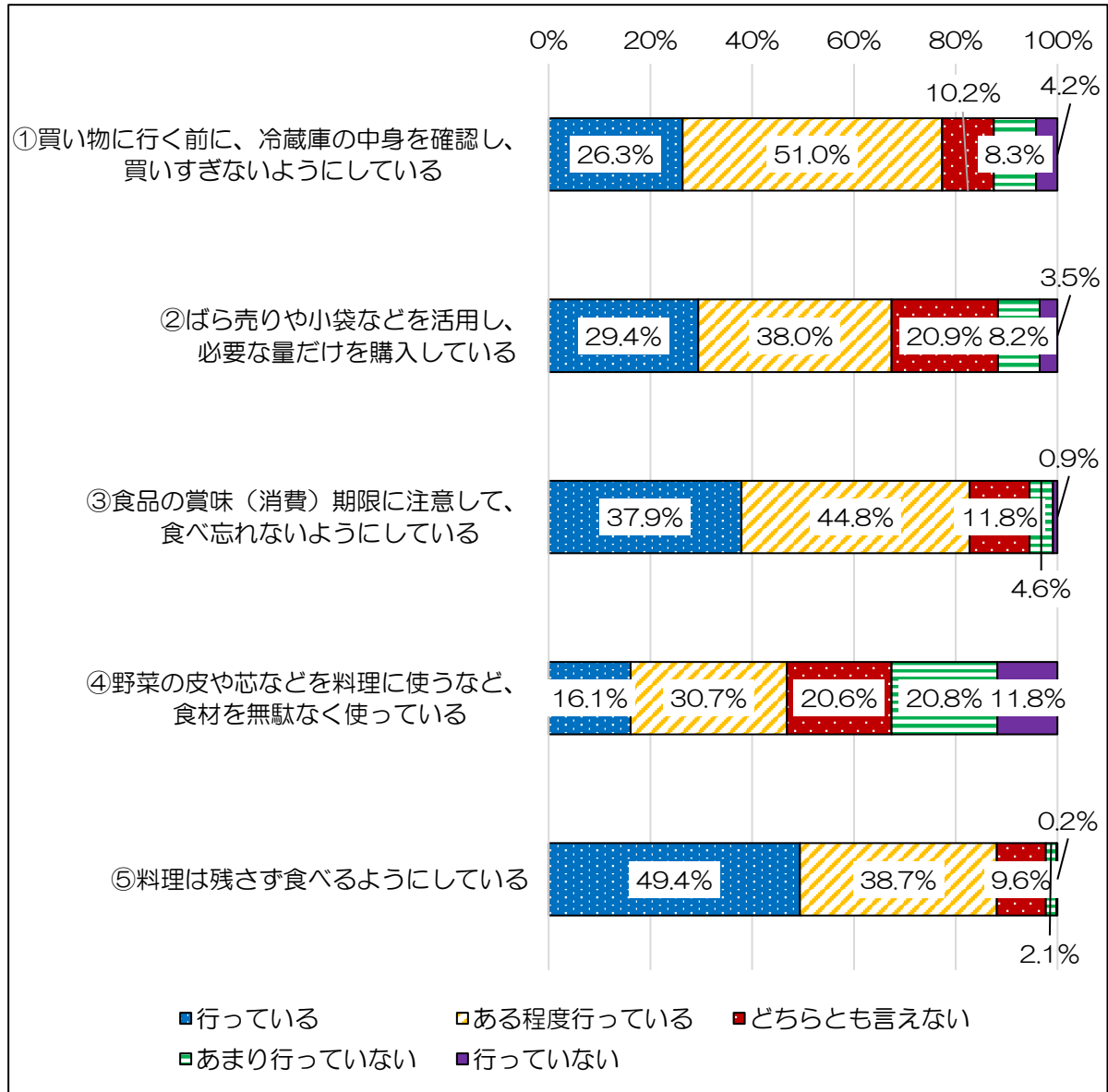


(3) 御家庭で調理をされる方のみにお聴きします。どのような食材の使い方をして  
いますか。(複数回答可)



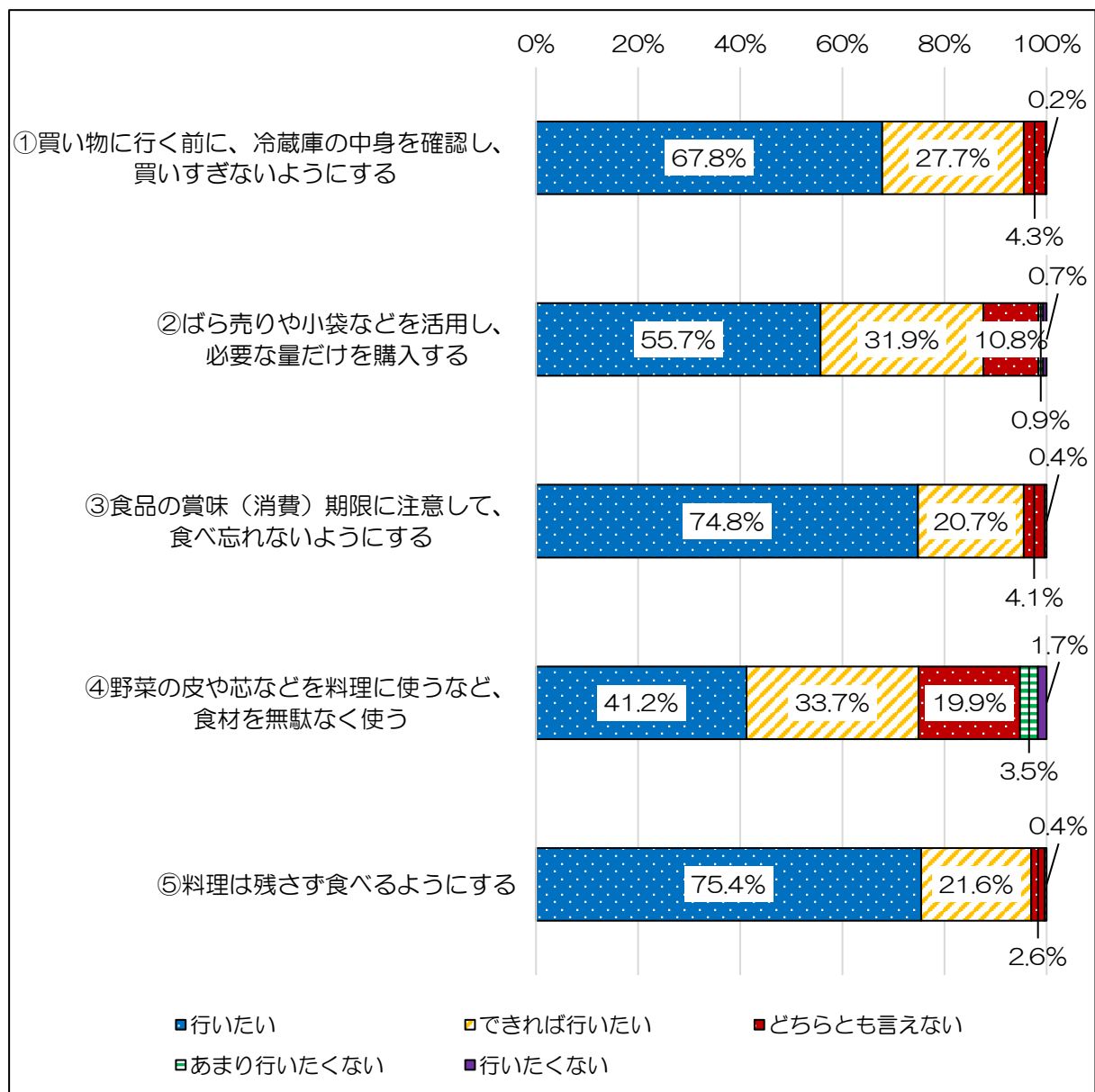
食品ロスの減量につながる取組について

問5 あなたは、「食品ロス」の減量につながる取組を、現在、行っていますか。



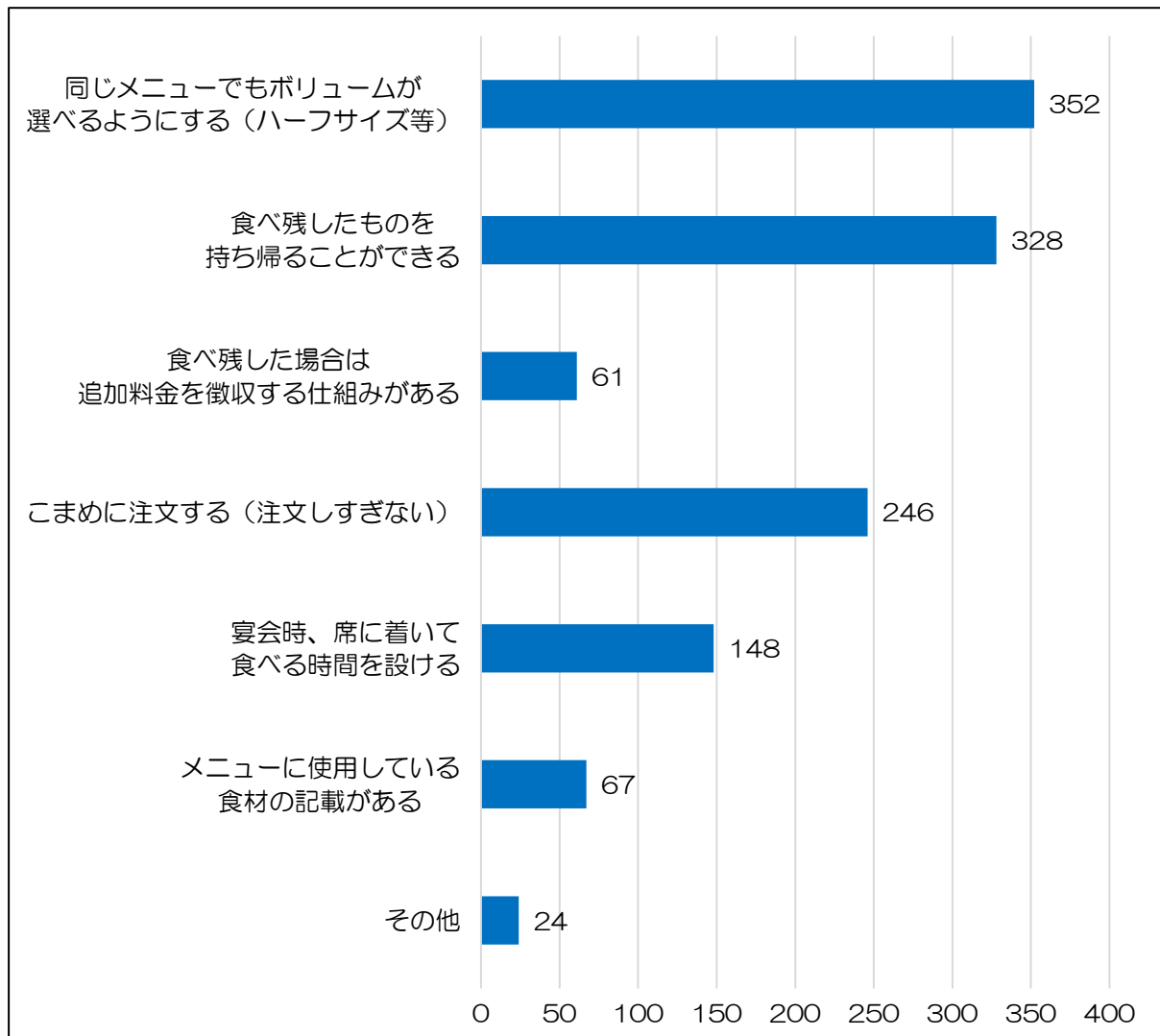
- 市民の約77%が、買いすぎ防止のため、買い物前に冷蔵庫の中身の確認を（ある程度）行っている。
- ばら売りや小袋などを活用し、必要な量だけを（ある程度）購入している市民は約67%。
- 市民の約83%が、食品の賞味（消費）期限に（ある程度）注意して、食べ忘れないようにしている。
- 野菜の皮や芯などを料理に使うなど、（ある程度）食材を無駄なく使っている市民は約47%。
- 市民の約88%が（ある程度）料理は残さず食べるようにしている。

問6 あなたは、「食品ロス」の減量につながる取組について、今後、どう思われますか。



- ・市民の約96%が、買いすぎ防止のため、買い物前に冷蔵庫の中身の確認を（ある程度）行いたいと回答。
- ・ばら売りや小袋などを活用し、必要な量だけを（ある程度）購入したい市民は約88%。
- ・市民の約96%が、食品の賞味（消費）期限に（ある程度）注意して、食べ忘れないようにしたいと回答。
- ・野菜の皮や芯などを料理に使うなど、（ある程度）食材を無駄なく使いたい市民は約75%。
- ・市民の約97%が（ある程度）料理は残さず食べるようにしたいと回答。

問7 外食時の食べ残しを減らす取組について、効果があると思われるものを、お聴きします。  
(複数回答可)





## 自由意見について

問8 「食品ロス」の減量に取り組む上で、困っていることや、こうなれば取り組みやすいと思うことがありましたら、記入してください。（自由記載）

### <企業や小売店、飲食店等への意見、希望等>

- ・ 値引きシールを早めに貼ってほしい。
- ・ 外食や宴会の際、残ったものを持ち帰れるようにしてほしい。
- ・ ばら売りや少量パック等の販売を増やし、かつ単価が割高にならないようにしてほしい。
- ・ 食材の正しい保存方法の表示や、野菜の芯の料理法等をその野菜に記載してほしい。
- ・ 行事食（恵方巻やクリスマスケーキ等）は必要以上に作らない。予約販売にする。
- ・ コンビニやスーパー等で、賞味・消費期限が近い、又は切れた商品は廃棄せずに安く販売してほしい。

### <個人、家庭での取組等>

- ・ 野菜は余ったら火を通して冷凍したり、漬け物にしたりと保存を工夫している。また、皮むきを控えたり再利用したりしている。
- ・ 一人一人が心掛け、食品ロスを減らしていかなければならない。子どもへの教育も大切だ。
- ・ 料理を作りすぎないようにする。
- ・ 買い物の際、献立を考え冷蔵庫をチェックしてから行く、買いだめをしない、必要なものだけ買う等。